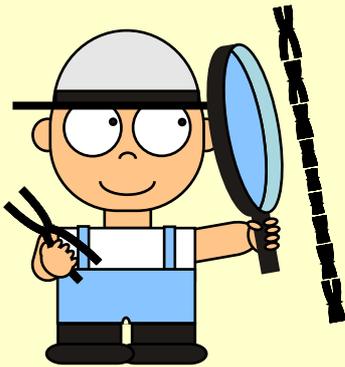
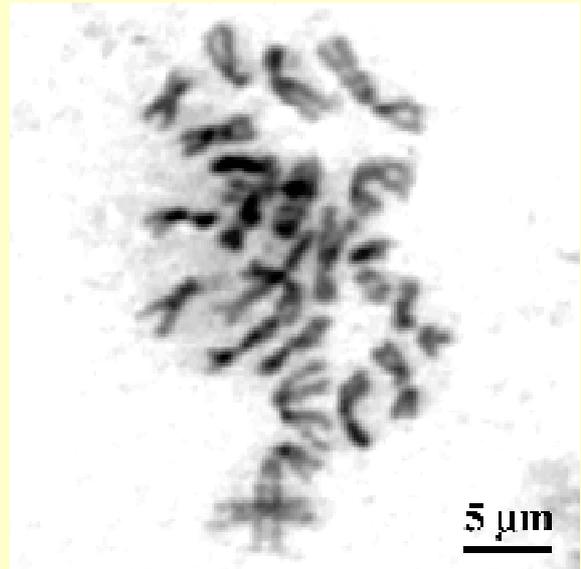


1 個の遺伝子の効果 (同質遺伝子系統群)

イネが持っている遺伝子の種類は2～3万種あると計算されている。1個の細胞に、これらの遺伝子が1セットずつある。そして遺伝子の多くは染色体に含まれている。

イネの染色体は12種類あり、各種類が2本ずつあるので、1個の細胞に24本ある。1本の染色体に1～3千個の遺伝子が含まれる計算になる。



細胞1個あたりの染色体をならべても、ヒトの髪の毛1本の太さと同じである。

1個の遺伝子の大きさは小さくても、1個の遺伝子の働きは大きい。「もどし交配法」によって1個の遺伝子を導入した品種としてササニシキBLが育成されている。「ささろまん」の愛称で呼ばれており、ササニシキに病気(いもち病)に対する抵抗性遺伝子を導入した品種である。

1個の遺伝子が異なる品種を同質遺伝子系統群と呼ぶ。

県立大学の水田圃場で栽培しているイネの同質遺伝子系統群の一部を展示するよ。普段はみられない珍しい特徴を持ったイネも展示するので、良く観察してみて興味があったら色々質問してね。

